



IRIS(アイリス)は、菖蒲・花菖蒲など、あやめ科の植物を表す言葉ですが、ギリシャ神話では「虹の女神」のことをいいます。アイリスクラブ通信「虹」は、私どもとみなさまを結ぶ架け橋として、楽しんでいただけるよう、また、お役にたてるようにと願い、会員のみなさまにだけお届けしております。



知っていそうで知らない ニッポン再発見 ③

近代弓道発祥と現代の眺める遠的

弓道は日本で最古の武道といわれている。馬に乗りながら、的に向かって弓矢を射る武士の鍛錬のために行われた平安時代の「騎射」に由来する。その後、鎌倉時代(1185~1333)には武士階級が台頭し、弓道の修行が一層重要視され、戦闘技術としての側面だけでなく、心身の鍛錬や礼儀作法も含む総合的な武道として発展していくことになる。

ところで、滋賀県蒲生郡竜王町が近代弓道発祥の地だということを知る人は少ない。同町の川守城は吉田出雲守重賢の居城として知られている。吉田氏は代々弓馬の武功に名高い一族で、足利義晴の弓術指南役をつとめるほどの腕前だった。重賢と嫡子である重政は、戦乱の世により実戦的な弓術の必要性を感じ、改良工夫を行い革新的な「日置吉田流(へきよしだりゅう)」を完成させ、この弓術が近代弓術の基礎となっていく。明応年間(1492~1501)、日置弾正正次が川守城主の重賢に弓の奥義を伝授したと伝わるころから、「日置吉田流」と呼ばれているが、日置弾正正次は架空の人物ともいわれている。

ちなみに、彦根藩井伊家では第12代直亮が弓術に熱心で、射込んだ日々の矢数を記録した「日置流雪荷流巻藁前矢数日記」(文政6年(1823)~文政13年(1830))が現存する。

淡海、★超遠的ヒーロー

淡海の遠的ヒーローといえば誰か? 一番に思い浮かぶのは三上山の百足を退治した藤原秀郷かもしれない。彼は「打物を取っても、弓を引くにも、肩を並ぶべき輩もなし」と謳われた人物である。「打物」というのは「打ち鍛えて作った武器。刀剣・槍など」のこと。平安時代、「近江富士」と呼ばれる美しい稜線の三上山(野洲市)を七巻半する百足を三本の矢を持ち勢多の浜で待ち構え、退治したという。また秀郷は、下総北部(茨城県西部)を地盤とする関東の最強豪族だった平将門を討ったことでも知られている。

そしてもう一人忘れてはならないのが、坂上田村麻呂だ。厄除で有名な甲賀市土山町の田村神社は、田村麻呂が悪鬼大嶽丸を討伐した後、「今や悪鬼も平定された。これより後は、この矢の功德を以て万民の災いを除くこととする。この矢の落ちた地に私を祀りなさい」と矢を放ち、矢が落ちた場所に神社の本殿が建てられたといわれている。田村麻呂は東近江市猪子町の北向岩屋十一面観音で大嶽丸討伐を祈願したと伝わる。藤原秀郷、田村麻呂が射た矢の飛距離は想像を絶する。間違いなく超遠的のヒーローだ。但し、秀郷は見事に百足の眉間を射貫いているところから、正確さを競う遠的では秀郷、距離を競う流し矢では田村麻呂ではないだろうか。

★眺遠的、彦根城で開催

9月10日(日)、彦根城の近江高校跡地(大手前保存用地)で、「第7回彦根城眺遠の大会」が行われる。全国から300人を越える弓道家が集い80メートル先の的に矢を放つ。この大会は、2025年に国スポの弓道競技が開催される彦根の魅力を発信し、彦根城の世界文化遺産登録を盛り上げようと彦根市弓道連盟が企画したものだ。

★眺遠的、彦根城で開催

遠的は、文字通り遠くの的に中てる弓道の競技である。弓道競技は、近的競技と遠的競技(60メートル)の2種がある。彦根城眺遠の大会は80メートル。通常よりのが20メートル遠くであり、彦根城天守を「眺望」しながら矢を放つ「超」ではなく「眺」遠的である。80メートルという距離は「中りそうで中らない」不思議な距離なのだという。2027年、世界文化遺産登録されるであろう彦根城内で、近代弓道の眺遠の大会を眺める。どんなヒーロー・ヒロインが登場するか楽しみである。

雲行



「石塔寺」(東近江市石塔町)



▶ 2022年「第7回彦根城眺遠の大会」

TOPIC 1

夏の大感謝祭 報告

7月8日(土)に公益会館彦根東にて夏の大感謝祭を開催いたしました。雨予報の中での開催でしたが、ギリギリ雨にも降られず、なんと200名を超える方々にご来場いただくことができました。なかには散歩中やお買い物帰りの方にもお立ち寄りいただき、終始賑わいの絶えない会場となりました。

今回のイベントは皆様へ日頃の感謝の気持ちを込め、韓国旅行や温泉旅行、プレステ5など、我々スタッフが欲しいと思う商品ばかりを集めた大抽選会も行い、盛り上がりしました。



また、公益社名物の『花ひろば市』や『生前遺影写真撮影会』にもたくさんの方々に参加していただき誠にありがとうございました。



TOPIC 2

秋の感謝祭開催!!!

9/6(水) 10:00~14:00 公益会館 八日市
9/9(土) 10:00~14:00 公益会館 多賀

9月6日(水)公益会館八日市・9月9日(土)公益会館多賀にて「秋の感謝祭」を開催いたします。

毎回、『人形法要祭』にはたくさんの人形・ぬいぐるみをご持参いただいております。もし、ご家庭で不要な人形等ございましたらこの機会に公益社で供養しませんか?

また、大特価販売のため売り切れ続出間違いなしの公益社名物『花ひろば市』ほか、天然水晶プレス作り(先着30名様)・お菓子つかみどり(お子様限定・先着50名様)コーナーもございます。

早めのご来場お待ちしております。

<https://shiga-koekisha.co.jp/topics/> ➔



TOPIC 3

ハピネスサポーター

私たちは、花を贈ることで障がい者の自立支援につながる社会貢献をしています。



私たち公益社では障がいを持った方々が栽培した胡蝶蘭を一部で採用しています。私たちが利用しているsigasiga orchid house(シガシガオーキッドハウス)は、大半が障がいを持つ従業員さんで構成され、お互いの得手不得手を補い合いながら、立派な大輪の胡蝶蘭を育てておられます。

いつもの胡蝶蘭を変えるだけで、障がい者の生活を支援することができます。簡単にえられることの中にも、とても意義のあることはたくさんあり、この事例はその一つです。

私たちはこれからも様々な形でCSRを推進していきます。



◆ 胡蝶蘭の購入を通じて公益社が目指す三方よし ◆

● 障がい者の積極的な社会進出

- SDGs・CSRにつながる活動を実現
- 企業イメージの向上
- 高品質な胡蝶蘭の安定確保



sigasiga orchid house
<https://sigasiga.jp>

● sigasigaの胡蝶蘭の利用拡大による雇用の増加

「あいさつ回り」と「記録」

葬儀後の喪主や遺族が、必ずしくはないといけないことが2つあります。

ひとつは「あいさつ回り」です。葬儀に参列してくださった親族、知人、同僚などには、丁寧に会葬とお悔やみのお礼を述べます。あいさつ回りの際に「香典返し」の品を届ける地域もあります。

遠方の方には礼状を送ります。故人に結んでいただいた大切な「ご縁」は大切にしたいものです。

2つめは「葬儀の記録」づくりです。参列してくださった方々の名簿、さらにどなたからいくら香典をいただいたかを記録に残します。近年では、御芳名カードを用意されますので、お名前と

喪主・遺族が故人を偲ぶ機会その①
「丁寧」さが「悲嘆」を和らげる

住所はしっかり帳簿していただくことをおすすめします。名刺をいただいておくのも記録づくりに役立ちます。

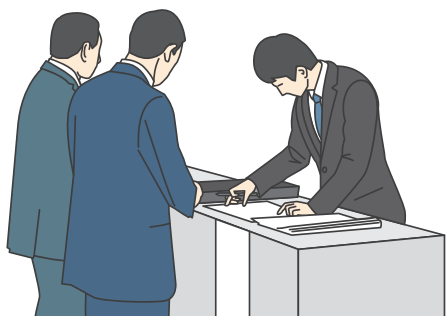
葬儀の場での親戚、近所関係が希薄化しているとはいえ「〇〇さんからいくら包んでもらった」という記録があると、先方で仏事などがあった際に役立ちます。

多種多様な仏壇

本来は「仏さま」をお祀りするのが仏壇ですが、近年は「故人・先祖」を祀る場所としての役割が重視されています。新しく仏壇を造る場合、四十九日を目安にされる方が多いようですが、決まりはありません。

仏壇店を訪ねますと、伝統的なものからモダンなものまで、さまざまな選択肢があります。伝統的な仏壇を用意する場合は、宗派ごとに祀り方が微妙に異なり、「宗派」の確認が必要です。

位牌に戒名を入れるときには、文字を間違えないようにします。「吉」と「吉」、「斎」と「齊」など、注文時に細心の注意をはらうことが大切です。



歳時記

2023年11月13日は亥の子餅を食べる

旧暦の亥の月最初の亥の日、江戸時代の庶民たちはこの日に炬燵(こたつ)や火鉢を出した。中国の陰陽五行説において「亥」は、水の気を持つため火災を逃れるといわれていたからだ。現在でも、茶の湯の世界では、この日に「炉開き」をし、茶席には「亥(猪)の子餅」が登場する。

2023年の旧暦10月最初の亥の日は、11月13日。地球温暖化で季節感が薄れ、近い将来、四季がなくなり二季になるともいわれているが、暦は大切にしたいものである。



▶亥の子餅(菓心おすが)

ところで、茶席に登場する「亥の子餅」だが、食べると万病から逃れるともいわれている。亥(猪)の漢字から想像できるようにイノシシの子(ウリボウ)をイメージした和菓子である。

『源氏物語』第9帖「葵」では、源氏が紫の上と密かに結婚し、その新婚第2夜に「亥の子餅」が登場する場面があるが、どのような餅だったのかは書かれていない。

『彦根藩士族の歳時記』(高橋敬吉著)には「大豆、小豆、大角豆(ササゲ)、胡麻、栗、柿、糖の七種の粉で作った物だそうだが、民間では主に甘藷を糯米に混ぜて搗いた餅であった」と記されている。

現在では、和菓子店が工夫をこらした亥の子餅が季節を彩る。亥の日限りや1日個数限定ほか、販売をしていないところもあるようだ。今年は亥の子餅の研究しながら、秋の近江を歩いてみるのもいいかも。



こんにちは♪ フラワーガーデン アイリスです。

少しずつ秋の気配が近づき始めるこの頃ですが、今回は秋が旬のお花「菊」についてお話ししますね。国花でもある「菊」ですが最近では「マム」と呼ばれることもあり、どんな違いがあるのか、ちょっとだけご説明を。

「菊」と「マム」は植物的には同じで、菊の学名「クリサンセマム」から英語で「マム」と呼ばれています。

まず「菊」と言えばよくご存知のいわゆる輪菊や小菊で、奈良時代に中国から伝わりずっと日本で親しまれています。

一方、「マム」は中国から欧米に渡り、品種改良されて日本に入ってきた菊のことで、以前は「洋菊」とも呼ばれ、まん丸なピンポンマムや枝分かれして咲くスプレーマムなど、華やかな色や形のものも多いんです。

そんなマム(菊)をもっと身近に、そして楽しんでもらうべく、秋も深まる11月6日を「いいマムの日」(1106=いいマム)とし、2015年頃から、新しい記念日となりました。近頃では多彩で美しい品種のマムも多くあり、秋にふさわしいシックな色や可愛らしい色も見かけたりします。実はお正月のお花にも使われるマム(菊)は縁起のいいお花でもあるんですよ。

こんなに鮮やかで華やかなマムを「お供えの花」のイメージで固めちゃうなんてもったいない!! この秋はきれいだな、と思うマムを見つけたら、ぜひ お部屋に飾って楽しんでみてはいかがでしょうか♥

秋 お花屋さんの花行事

9月9日	重陽の節句(菊の節句)
9月15日	敬老の日
9月20日~26日	秋のお彼岸
10月15日	孫の日
10月31日	ハロウィン
11月6日	いいマムの日
11月15日	七五三
11月22日	いい夫婦の日

10月からフラワーガーデンアイリス多賀の営業時間を変更します

木曜日~日曜日●営業時間10:00~16:00
月曜日~水曜日●定休

みなさまのおたよりから

- 毎回楽しみに読ませて頂いております。今回NHKの朝ドラ『らんまん』のモデルの牧野富太郎さんの記事で、なおかつ私たち故郷の山、伊吹山や彦根のこと興味深く身近に感じられてとても良かったです。これからこんな風にいろんなことを教えて頂きたいです。(東近江市：女性)
- 彦根城のオオトクリイチゴのことは知っていましたが、牧野氏と平瀬氏の名があることにびっくりしました。毎回身近でありながら知らない面を知ることができるこの記事(ニッポン再発見)は読みごたえがあります。(彦根市：男性)
- 先日のイベントでブレス作りをさせていただき、また、くじ引きにて500円の買い物券で花鉢を購入し、姉の誕生祝いをさせていただく事が出来、充実した時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。(彦根市：女性)
- 『人形法要祭』の案内をいただき初めて参加。大事にしていたお人形さんの供養をしていただき、誕生石ブレスも作り、お花も安く買えて本当に有難うございました。また次回を楽しみに待っています。(彦根市：女性)
- 近江八幡での人形法要祭でお世話になりました。子供達のおひな様を供養して頂き感謝しております。又、『花ひろば市』を八日市で開催される時には是非伺いたいと思っております。(東近江市：女性)
- 滋賀県総合防災訓練に参加されていた事を初めて知りました。起きては困る災害ですが、もしもの時、またその時に悲しいことです。死亡者が出た時の安置・納棺について指導訓練をされた事を知り、ほっとしました。混乱のなかでも大切に遺体に接してもらえるんだなと思いました。災害が起きませんように。先日の春の大感謝祭に初めて行きました。ずっと気になっていたもののなかなか行くことができなくて。素敵なお花が買えてとても嬉しかったです。今もきれいに咲いています。(東近江市：女性)
- 歳時記『蚊相撲を記憶せよ!』の見出しからしてインパクトがあり、興味をそそられた。毎年、夏が近づくと蚊取り線香が必需品。そろそろ出しておかないと。近江は蚊にとっては住みやすい所だなんて思ってもみなかった。しかし蚊の全くいない夏も生態系の調和を崩すようで怖いと思う。(東近江市：女性)
- 母の日=(イコール)カーネーションと思って何となしに渡していましたが、ちゃんと由来があるんですね。今は色とりどりのカーネーションが出ています。今年も感謝の一言と共に渡せればと思います。(東近江市：女性)
- コロナ禍の中、主人が急逝し私も息子も戸惑うことばかりでしたが、公益社の皆さんのアドバイスや協力のお陰で主人の希望通り、主人の建てた家から出せたことが何よりの供養だったかなと振り返っています。家族の気持ちに寄り添っていただけたこと、うれしく思っています。(彦根市：女性)
- もうじきコロナ前の葬儀様式になるかと思っています。長かった3年間。大変であったかと思えます。又、アイリス通信で色々なお得な情報を発信し続けて下さい。(彦根市：男性)

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地
TEL.0749(22)5000 FAX.0749(22)0042
https://shiga-koekisha.co.jp 滋賀公益社 検索

アイリスクラブ 提携店のご案内

アイリスクラブ

アイリスクラブカードをご提示いただくとお得なサービスが受けられます。ぜひご利用ください。●アイリスクラブ提携店リストを更新しました▶▶▶



日本料理・仕出し 魚清 彦根市須越町196-2 tel.0749-25-0196



「魚清」は彦根市須越町の日本料理店だ。創業は昭和50年。もともとは、須越の港で水揚げされる湖魚を扱う魚屋を代々営んでいたそうだが、先代が料理店をはじめ、現在の場所に移転。料理店一本で今に至る。屋号の「魚清」は魚屋の頃から受け継がれてきたものだ。

琵琶湖の湖魚はもちろん、近江ならではの食材を使った料理が特徴で、自家菜園で栽培している野菜の他、食材はなるべく地元のものを使うように心がけている。

最近では別館「和み庵」で、ランチの営業もスタート。「ビワマス刺身丼」や「うなぎのオムライス」「近江牛丼」など、魚清ならではのメニューを1,500円から楽しめる。手ごろな価格で気軽に立ち寄ることができるようになった。また、前日正午までの注文で、お弁当のテイクアウト・デリバリーも可能だ。

ぜひ、魚清と和み庵で、近江ならではの料理を味わってみてはいかがだろう。

会員特典 お食事された方 ソフトドリンク1杯サービス

ご愛読者プレゼント

会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて

『箱膳懐石』ペアお食事券



魚清様

*写真はイメージです

抽選で
5
組様に

- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。
- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただきます。

応募締切 2023年9月20日(水)必着



ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

0120-61-4000